

バイオマス産業創出事業

施策のポイント

バイオマス産業創出事業は、付加価値の高いバイオマスによる地域産業の創出を目的として、真庭バイオマスラボの設置し研究機関、大学、民間企業による共同研究・開発を行う。また、合わせてバイオマス関連の人材育成も行う。

自治体情報

岡山県真庭市

人口 / 51,102人

標準財政規模 / 20,677,450千円

担当課 産業観光部バイオマス政策課

電話番号 直通 0867-42-5022

実施主体 真庭市

関連ホームページ <http://www.city.maniwa.lg.jp/webapps/www/index.jsp>

事業期間 平成 22 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

本市では、バイオマスに係る収集・運搬から変換、利用に至る各種データ分析やバイオマス利活用関連施設の整備など、地域の特性に適合したバイオマス産業の創出やトータルシステムの構築、地域循環型社会の実現などを目指し、関係者一丸となって取り組んでいる。「バイオマス集積基地」などの基盤が整備され収集運搬、安定供給の仕組みが出来つつあり、今後は、これらの成果をふまえ、バイオマスのエネルギーからマテリアルまで幅広く厚みのある利用を図り、付加価値の高い多様なバイオマス産業を創出し、若者の地域雇用を確保することで持続可能な地域産業を実現することに重点を置いた中長期的戦略が不可欠である。

このため、バイオマス研究機関や大学等の支援を受けて、地域内外の産学官の連携体制を構築することにより、バイオリファイナリー事業に関する地域の技術力・研究開発力の向上と人材育成を推進する。

これらの取組みにより、地域に豊富に存在する木質バイオマス等を活用して、エネルギーやマテリアル製品等を生産する新たな産業を創出することを目指す。

2 取り組みの具体的内容

- ・市内外の研究機関、大学、民間企業等が地元関係企業等とバイオマスリファイナリーの実用化技術の共同研究・開発を行う真庭バイオマスラボを整備する。
- ・多様化する社会に対して柔軟に対応し、民間主導による新たな協議会として、真庭バイオマスリファイナリー事業推進協議会を設立する。
- ・シンポジウム、技術研修、体験セミナー等を開催し、新産業創出に必要なバイオマス産業関連の技術や実務の担い手、ビジネスに関わる人材を育成する。

3 今後の展開と課題

現在、真庭バイオマスラボ入居の募集をしており、様々な研究・開発に取り組んでいただき新産業の創出に繋げていく計画である。

また、「真庭バイオマスリファイナリー事業推進協議会」にも参画してもらい、連携を深めるとともに人材育成も図っていく予定である。

